

市民と市役所が ツナガル通信

発行日：平成 29 年 7 月 31 日

発行元：ESD・市民協働推進センター

岡山市役所本庁舎 2 階

月～金曜日、9:00～17:00

TEL：086-803-1062

070-5055-7589



Vol.26

CONTENTS

- ＊「操車場跡地にできる新公園を活用する市民の会」設立！
- ＊課題共有ワークショップのお知らせ
- ＊市民協働推進モデル事業とニーズ調査事業
成果報告会&円卓会議レポート

「操車場跡地にできる新公園を活用する市民の会」が設立されます！

平成 34 年度の完成を目指し、JR 北長瀬駅前の操車場跡地に新しい公園が建設されています。その公園を「もっと市民が活用できる場所にしたい」という思いをもった人が任意団体「くらしのたね」に集まり、平成 28 年度に市民協働推進ニーズ調査制度を活用して、庭園都市推進課と協働でアンケート調査を行いました。19696 世帯にアンケートを配布し、2490 の回答がありました。アンケートでは公園計画について「ほとんど知らない」という方が 32%でしたが、そのうちの 49.8%の方が「興味がある」と答えています。また「公園に期待すること」は、子育て世代が自然と触れ合えること、シニア世代には防災拠点としての機能で、その他には、野外で飲食が楽しめる、定期的にイベントがある、という意見もありました。今年度は、こうした調査結果を踏まえ、操車場跡地にできる新公園を活用する市民の会（ボランティアグループ）を立ち上げます。8 月 20 日（日）の午前 10 時から、御南西公民館で設立フォーラムが開催されます。市民と協働で公園の具体的な利用方法や、ルールづくりをしていく仕組み「パークマネジメント」を推進していくために、市民参加の先進的な公園として名高い「有馬富士公園」の取組を「兵庫県立人と自然の博物館」の藤本真理さんに紹介いただきます。アンケートで公園づくりに「今から参加したい」「完成に向けて参加したい」と回答された方、市民の会への参加を希望される方、市民による公園活用に関心がある方、いよいよ発足する市民の会に是非ご参加ください！

※8 月 20 日のイベント詳細はコチラ↓

<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/12180>

※平成 28 年度市民協働推進ニーズ調査事業アンケート結果↓

<https://creativesurvey.com/public/56de7f46cba5ce727e3b9f413b33a2e01a379a4d/result>

ニーズ調査
報告会の様子



課題共有ワークショップを開催します！

5 月のツナガル通信でご紹介しました通り、今年度は岡山市の課題について、あらゆる主体が話合うワークショップ(以下、WS)を 3 つの工程に分けて実施し、1 つの課題について、じっくりと話し合います。「課題共有 WS」で情報を共有し、「課題分析 WS」でその原因を分析し、「課題解決 WS」で解決策の検討や、事業提案を目指します。8 月 17 日に開催する課題共有 WS の 3 つのテーマが決まりました！

分類	課題共有テーマ
A	岡山市中心部とその他の地域を結ぶ面的観光コンテンツの創出
B	「農」の持つ多面性を利用した持続可能な農業と農村づくり
C	生活困窮者等の居住の安定確保支援

日時：平成29年8月17日（木）13：30～16：00（参加費：無料）
場所：岡山市勤労者福祉センター4階 大会議室（岡山市北区春日町5-6）

課題共有ワークショップとは？

課題共有ワークショップは様々なテーマ（社会課題）に対して同じ問題意識を持った方々が集まり、それぞれの知識や経験を交換しあいながら、理解を深める機会です。テーマに共感できるという個人または組織（営利・非営利問わず）の方が参加可能です。皆様のご参加をお待ちしています！

※詳細は「つながる協働ひろば」でご確認ください↓

<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/12178>

分類	テーマ	ご依頼者
A	子育て中心型での働き方に関する課題と職員のメンタルケア	岡山 JAが協賛委託
B	「働く」を持つ多様な若年層のキャリア教育に関する課題と連携づくり	岡山県教育委員会
C	生活困窮者等の社会的な課題に関する課題	岡山県社会福祉推進課

市民協働推進モデル事業・市民協働推進ニーズ調査事業の成果報告会&円卓会議を行いました！

6月29日（木）、岡山市北区の勤労者福祉センターにて、平成28年度中に実施された市民協働推進モデル事業（以下、モデル事業）と、市民協働推進ニーズ調査事業（以下、ニーズ調査）の成果報告会と円卓会議が開かれました！約100名の参加者が7つのモデル事業と1つのニーズ調査の報告を聞きました。事業実施団体と担当課がそれぞれの立場から「目標」「工程」「成果と課題」「今後の展開」などの報告を行いました。

そのうちの1つ、プラウド岡山が教育委員会指導課、女性が輝くまちづくり推進課、人権推進課と実施した「学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業」は、その当事者の多くが幼い頃から疎外感や自己否定感を持つことが多いため、教職員に性の多様さや、当事者生徒の現状を伝える研修を実施し、パンフレットを作成しました。市民協働で人権課題として提起できたおかげで各方面への反響が大きく、PTAや行政職員、岡山市外からも研修依頼があり、パンフレットの増刷を行いました。今後も当事者から語りかけ続けるとともに、医療や福祉の現場にも啓発していきたいと報告しました。



約100名の参加者が報告を聞く様子

今年は初めて、報告会のあとにモデル事業が取り組んだ課題から2つの円卓会議を開催しました。「里親委託を推進するために」と「中学生のキャリア教育を支えるために」のテーマに関連の深い方々が集まり、モデル事業で残された課題や、解決のために出来ることを考えました。

「里親委託を推進するために」では、子どもが里親を希望した場合に、その子どもが適した環境で暮らすためには多様な里親登録が増える必要があります。里親制度を知らない方や、無関心層にも情報を届けるために円卓会議に参加したメンバーそれぞれがお互いの持つ機会を提供しあうことが大切だと確認されたほか、協働で出前授業を実施するなどの具体的なアイデアが生まれました。



手前が円卓会議、奥は傍聴者のみなさん

「中学生のキャリア教育を支えるために」では、子ども達の職業観は周囲の環境が大きく影響していて安定志向が目立つこと、また、塾や習い事で多忙なのに加え、室内でゲームを楽しむことが増え、地域との関わりが希薄になっていることが問題とされました。それらを踏まえ、子どもたちが多様な職業観を持つためには、地域行事やボランティア等への参加だけでなく、だっぴを広げ、大学生や地域の大人と中学生のコミュニケーションをはかっていくことの重要性が共有されました。

モデル事業が解決しようとする社会課題について、さらに多様な人たちと一緒に考えることで新たな方法が見えてくる円卓会議は、課題解決の新展開を見出す場となりました。